

11月29日(土) 東海大学史学会11月例会



# 日本考古学における埋葬方位研究の動向



東海大学 文学研究科史学専攻 白川美冬

# 本日の流れ

## 【はじめに】

- 埋葬方位研究とは？
- 目的・方法・対象資料



## 【分析】

- 埋葬方位研究の歴史  
1890年代～2020年代



## 【考察・展望】

- 時代別の傾向
- 研究内容の傾向
- 埋葬方位研究のこれから



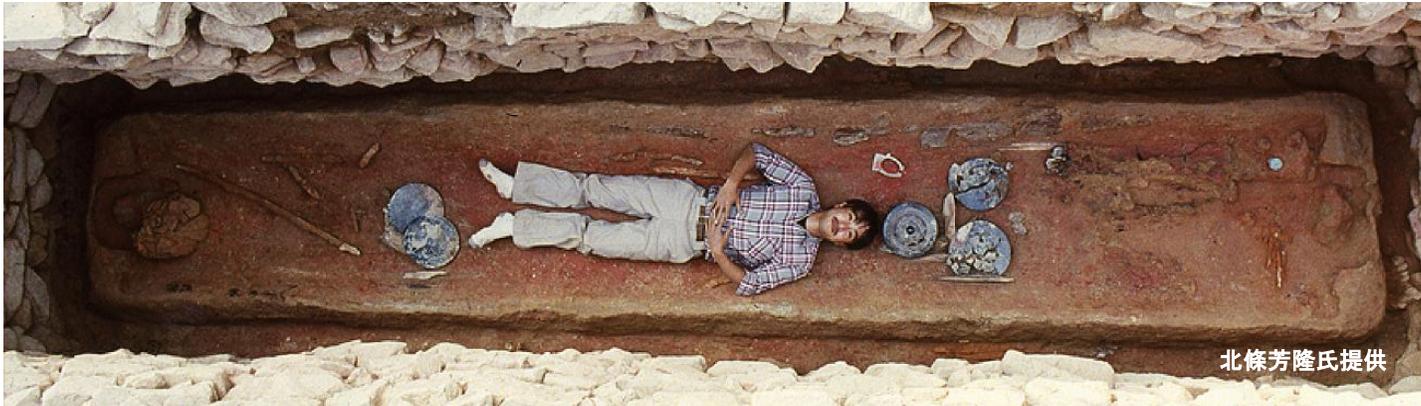
# 埋葬方位研究とは？

1. 人骨や墓などの方向が何を基準に定められたのかを考える研究  
・・・地形・景観・出自・政治・宗教・性別・年齢？？？

2. 埋葬方位の研究対象は大きく3つに分類できる

①被葬者  
→埋葬頭位・遺骸主軸

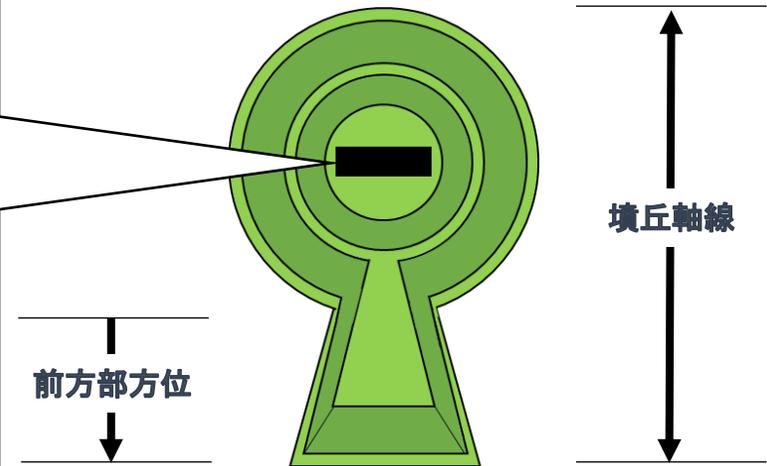
②主体部  
→墓壙主軸・木棺主軸etc.



← 遺骸主軸 ・ 木棺主軸 →

← 埋葬頭位 →

③地表施設の方  
→墳丘主軸・前方部方位etc.



3. 研究内容や研究対象が多岐にわたるため、通時的に整理することが難しい

# 目的・方法・対象資料

- 1 問題点・・・先行研究が多すぎるあまり、通時的に整理しきれていない
- 2 目的・・・
  - ①縄文時代から古墳時代までの研究成果をまとめる
  - ②埋葬方位研究の課題を明らかにする
- 3 方法・・・
  - ①研究史を時系列にそって整理する
  - ②研究の対象時期と内容から課題を考える
- 4 対象資料・・・埋葬方位を論じた256件のうち、方位の規定要因を論じた213件

# 1890年代：最初の方位研究者

(複数回答有) 研究内容  
(複数回答無) 対象時期

精神  
(1件)

古墳  
(1件)

景観  
(1件)

## ●William Gowland 1897年 「The Dolmens and Burial Mounds in Japan」

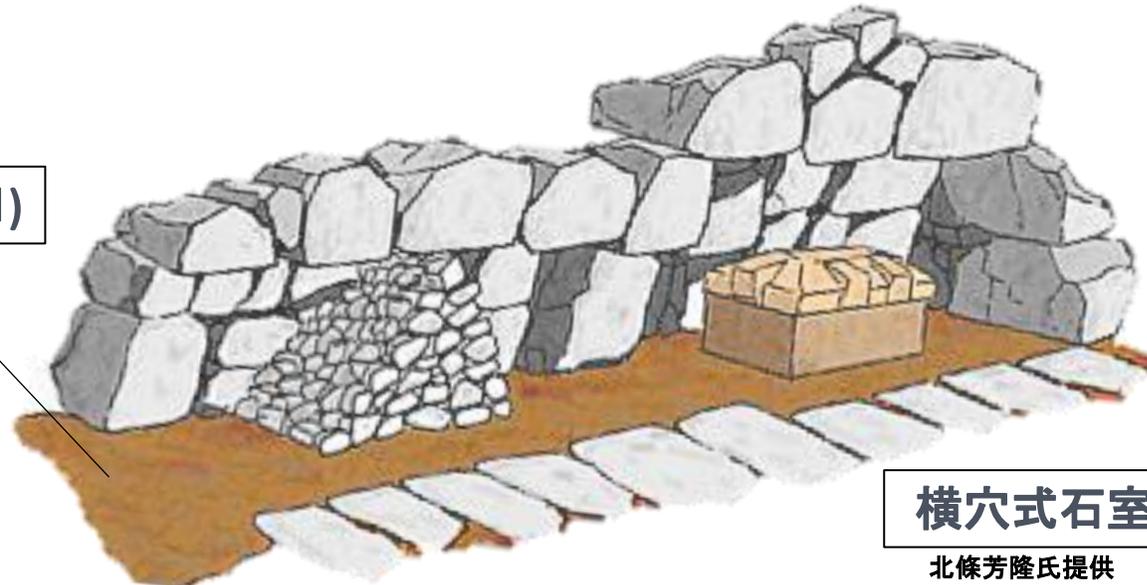
はじめて埋葬方位を論じた論考

→ 横穴式石室の開口部が南側を向くことを指摘  
太陽崇拝との関係を論じる



Victor Harris and Kazuo Goto  
2003より引用

開口部(入口)



横穴式石室

北條芳隆氏提供

# 1920年代：方位研究の萌芽

(複数回答有)

研究内容

対象時期

その他  
(1件)

精神  
(3件)

景観  
(3件)

地形  
(2件)

縄文  
(6件)

## ●長谷部言人<sup>ことんど</sup>1920「石器時代の<sup>そんそ</sup>蹲葬に就て」

はじめて埋葬方位を論じた論考

- 津雲貝塚の埋葬頭位が東を向くことを指摘  
太陽の光が死者を復活させることを防ぐため  
…積極的な理解 (大串1920・清野1920も)



東北大学史料館HPより引用

## ●小金井良精<sup>よしきよ</sup>1923「日本石器時代人の埋葬状態」

- 埋葬頭位が地形条件に左右されたと考える  
…消極的な理解



新潟文化物語HPより引用

# 1930年代：方位研究の波及

(複数回答有)  
研究内容

対象時期

その他  
(1件)

編年  
(2件)

景観  
(1件)

地形  
(2件)

古墳  
(3件)

縄文  
(2件)

- 後藤守一 1934「上野國白石<sup>しろいし</sup>稻荷山發掘調査概報」
  - 白石古墳群の変化を3つに区分  
前方部の方位が築造時期の指標になると指摘  
…方位から編年を導こうとした第一人者



セブンネットHPより引用

- 山内清男<sup>すがお</sup> 1936「石器時代人の寿命」
  - 津雲貝塚の人骨は若干の間隔がある  
縄文時代の墓地は森林に形成  
木の配置に人骨の配置が左右されたと考える



埼玉県HPより引用

# 1940年代：皇国史観(天皇制絶対主義)の隆盛

■皇国史観…天皇を中心に歴史が継承されてきたと考える歴史観  
日本神話が史実であることを考古学は証明しようとした

●鏡山<sup>たけし</sup>猛1941「原始箱式棺の姿相(二・完)」

→ 石棺の方位が太陽を基準に定められたと考える  
**太陽信仰の反映だと論じる** (2頁以上の言及)



九州大学総合研究博物館HPより引用

●八幡<sup>やわた</sup>一郎1940「日本先史人の信仰の問題」

→ 埋葬頭位が地形に左右されたと考える  
**太陽信仰論を一切引用せずに論を終えている**



榎崎修一郎氏の人類学のススメHPより引用

(複数回答有)  
研究内容

対象時期

精神  
(3件)

オホーツク  
(1件)

弥生  
(1件)

景観  
(4件)

古墳  
(4件)

地形  
(2件)

# 1950年代：本格始動した実証主義

研究内容	対象時期
その他 (2件)	その他 (1件)
編年 (1件)	オホーツク (1件)
精神 (1件)	古墳 (1件)
出自 (1件)	
景観 (3件)	縄文 (3件)
地形 (1件)	

- 兒玉作左衛門<sup>さくざえもん</sup>1950「モヨロ貝塚人の埋葬に就て」
  - 普通の死者は河川を基準に不慮の死を遂げた人物は崇り避けのため別方向に…**方位の違い＝死因の違いと考えたはじめての論考**



函館市HPより引用

- 斎藤忠1953「古墳方位考」
  - 前方部が南を向く事例がどの立地条件にも一定数存在古墳の方位には何らかの思想が反映された…**実証的に地形規定説を批判した**



四国新聞社HPより引用

- 岡本勇<sup>いさむ</sup>1950「埋葬」
  - 歴史を「野蛮・未開・文明」と発展的に捉えるモルガンの著作を引用埋葬頭位が血縁集団などの社会組織を反映した可能性を示唆

# 1960年代：方位研究の発展

(複数回答有) 研究内容	対象時期
その他(1件)	その他 (3件)
編年 (2件)	
地域 (2件)	
	オホーツク (1件)
精神 (3件)	古墳 (3件)
個人(1件)	
出自(1件)	
	弥生 (1件)
景観 (5件)	縄文 (4件)
地形 (2件)	

## ●末永雅雄1961『日本の古墳』

→ 方位傾向を視覚化する方法を確立  
 …**グラフで方位を表示したはじめての論考**



関西大学HPより引用

## ●原田大六<sup>だいろく</sup>1966「実在した神話」

→ 被葬者をオオヒルメノムチ(太陽神)と解釈  
 伊都国(現・福岡県北西部)で太陽信仰があったと推測  
 …**脱・皇国史観を目指す学会から無視**



糸島市ポスターより引用

## ●大塚和義<sup>かずよし</sup>1967「縄文時代の葬制」

→ 埋葬頭位を通時的に把握 3つの画期を設定  
 太陽・月・星などの天体運行を基準に定めた



At home株式会社 HPより引用

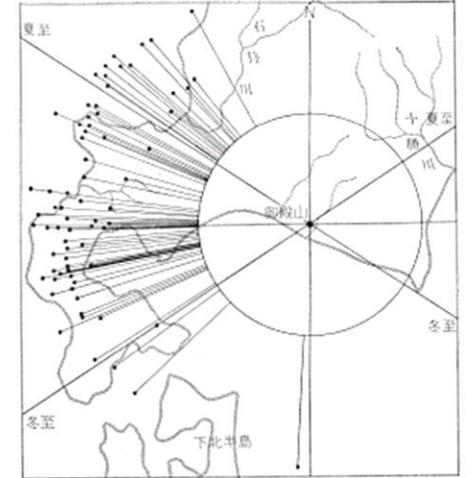
# 1970年代：縄文方位論の多様化①

(複数回答有)  
研究内容 対象時期

その他 (3件)	その他 (3件)
編年(1件)	
地域(1件)	
精神 (3件)	オホーツク (3件)
政治(1件)	
出自(1件)	古墳 (1件)
景観 (3件)	弥生 (1件)
	縄文 (1件)

## ●藤本英夫1971『北の墓』

→ 遺跡の位置情報・太陽の運行範囲を提示して  
太陽信仰と埋葬頭位の関係を論じた



藤本1971より引用

## ●林謙作1977「縄文期の葬制 第二部」ほか

→ 東北地方は頭位が複数方向に区分できる  
抜歯と埋葬頭位は対応関係がある  
埋葬頭位は生前の社会的な位置づけの反映  
…方位を出自で理解した第一人者

# 1970年代：縄文方位論の多様化②

(複数回答有)  
研究内容 対象時期

研究内容	対象時期
その他 (3件)	その他 (3件)
編年(1件)	
地域(1件)	
精神 (3件)	オホーツク (3件)
政治(1件)	
出自(1件)	古墳 (1件)
景観 (3件)	弥生 (1件)
	縄文 (1件)

## ● 都出比呂志1979「前方後円墳出現期の社会」

→ 前期古墳の埋葬頭位が北に偏ることを指摘  
政治関係の変化に伴う 新しい葬送儀礼の成立  
…古墳方位ブームの引き金



長岡京市高台自治会HPより引用

## ● 甲元<sup>まさ ゆき</sup>真之1977「弥生時代の社会」

→ 墓壙を東西と南北に区分(4:1) 東西のみに小児墓  
東西方位がムラ出身者 南北方位が婚入者  
…方位を出自で理解した第一人者



岸和田市HPより引用

# 1980年代：古墳方位ブームの到来

研究内容	対象時期
その他 (7件)	その他(1件)
編年 (4件)	
地域 (11件)	
精神 (8件)	古墳 (30件)
政治 (12件)	
個人 (1件)	弥生(1件)
出自 (8件)	
景観 (6件)	縄文 (9件)
地形 (2件)	

◇埋葬頭位の傾向、墳丘軸線と主体部の平行・直交関係  
→ 地域的な様相と全域的な様相が存在

●都出比呂志1986「墳墓」ほか

→ 近畿地方を中心に北頭位の事例が存在すると指摘  
北への指向性は中国の儒教思想の影響  
…北頭位は政治関係の解明に有益



長岡京市高台自治会HPより引用

●森幸彦1988「人骨の埋葬状態について」

→ 三貫地貝塚の埋葬頭位が鹿狼山山頂を向く  
…方位と山岳の関係を論じたはじめての論考

●佐々木長生1988「埋葬状態からみた靈魂観」

→ 鹿狼山が始祖を祀る靈地であると指摘



三貫地貝塚の発掘調査報告書より引用

# 1990年代：方位研究の成熟

研究内容	対象時期
その他(8件)	その他(2件)
編年(3件)	古墳(22件)
地域(10件)	
精神(3件)	
政治(11件)	
個人(4件)	弥生(3件)
出自(12件)	縄文(21件)
景観(7件)	
地形(8件)	

◇政治関係・階層関係の解明 地域の自律性や主体性を**重視**

●吉水真彦1991「近江湖西地域南部における古式古墳の様相」ほか  
→ 前方部の向きと尾根筋の関係から地域固有の規範を見出す

◇東西と南北の優位性 地形と墓壙の直交・平行関係を探る研究が**主流**  
→ 古墳時代との連続性・断絶性を探究

◇方位の違いを出自・性差・年齢・死因に求める研究が**主流**

◇方位が太陽を基準に決められたと考える説が**増加**

# 2000年代:本格化する景観史学

研究内容	対象時期
その他 (13件)	その他(2件)
編年 (6件)	古墳 (27件)
地域 (10件)	
精神 (6件)	
政治 (6件)	
個人(2件)	
景観 (16件)	弥生 (5件)
地形 (12件)	縄文 (15件)

●西琢朗・百田博宜・藤森紀明・北條芳隆2003  
「関東地方の前方後円墳のデータベース化とその分析」

→ 方位傾向と立地条件の統計的な把握

●北條芳隆2009『大和』原風景の誕生」

→ 古墳の配置関係や周辺景観を点検



●山田康弘2003「埋葬頭位は社会組織を表すのか」

→ 埋葬頭位には景観・地形・位置関係 年齢・性別など  
様々な要素が反映

◇周辺景観を基準に方位を定めたと考える論考も多い



早稲田大学HPより引用

# 2010年代：考古天文学の始動

(複数回答有)

研究内容	対象時期
その他 (4件)	その他(1件)
編年 (2件)	古墳 (14件)
精神 (9件)	
政治 (2件)	
景観 (12件)	弥生 (2件)
地形 (3件)	縄文 (2件)

●菅原康夫2010  
「萩原1号墓・2号墓の主体部構造と諸問題」

●赤塚次郎2014「邇波の東之宮古墳」  
→太陽の出没場所が方位の基準だと指摘

●北條芳隆2017『古墳の方位と太陽』  
過去の天体運行や景観との関係を厳密に点検  
→ 東西頭位を採用した事例は太陽信仰  
北頭位を採用した事例は北辰信仰



すえドンのフォト日記より引用



朝日カルチャーセンター  
HPより引用



# 2020年代：視認性の追求

(複数回答有) 研究内容	対象時期
その他(1件)	その他 (4件)
地域(1件)	
精神 (4件)	
政治 (2件)	古墳 (7件)
景観 (10件)	

● 滝沢誠2020「古墳の立地と視認性」

● 白川美冬2022「景観史的観点からみた前方後方墳」

→ 舟からの視認性(水辺)が古墳の方位に関係



筑波大学HPより引用

● 河野一隆2022「九州から見た東日本の装飾古墳」

→ 一部の装飾古墳には夕日が差し込む演出が採用

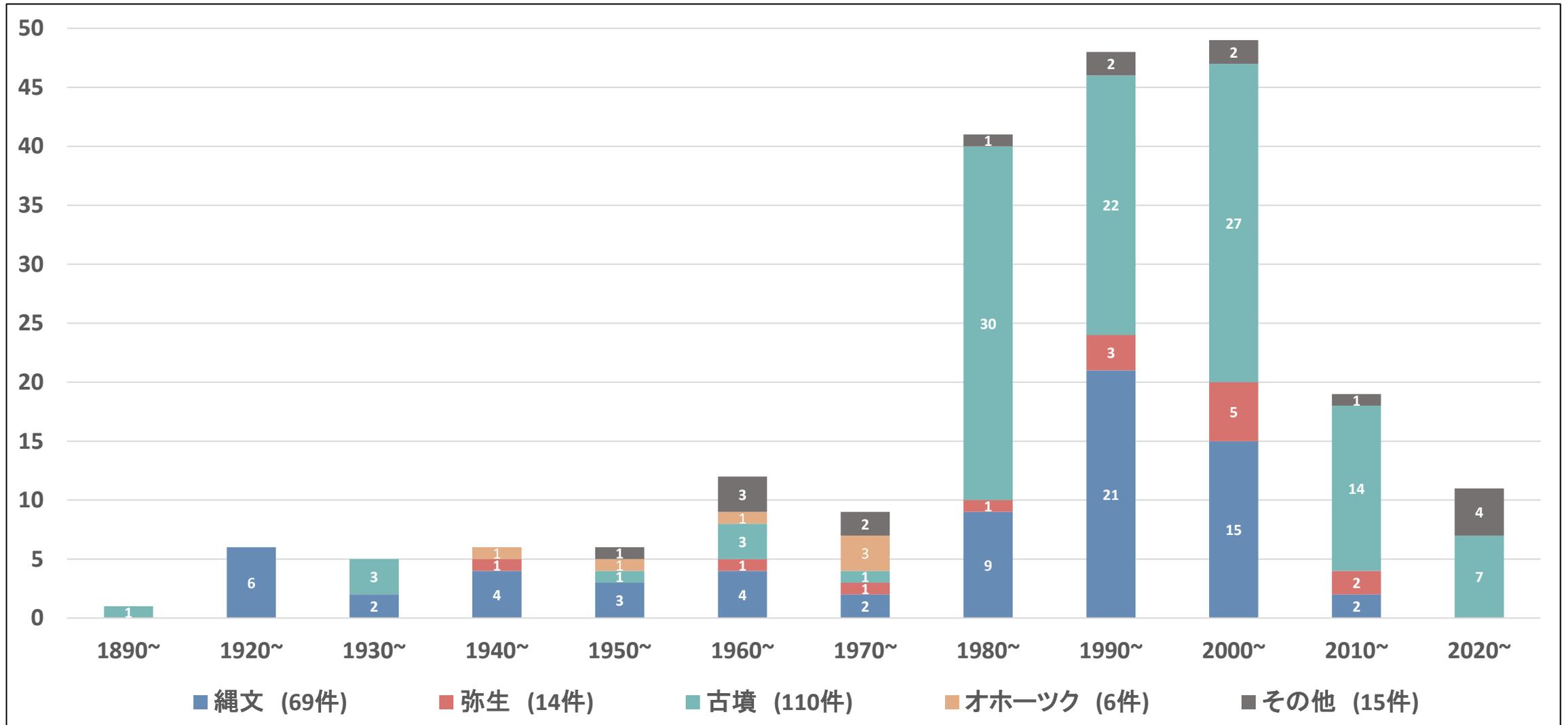


BIZCOLI HPより引用

● Baratta et al. 2022 "The Orientation of the kofun Tombs"

Google Earth Proを利用した海外の論考

# 時代別の傾向—縄文・弥生・古墳—



【疑問】 どうして弥生時代の研究は少ないのか？

# 時代別の傾向—北部九州の甕棺墓—

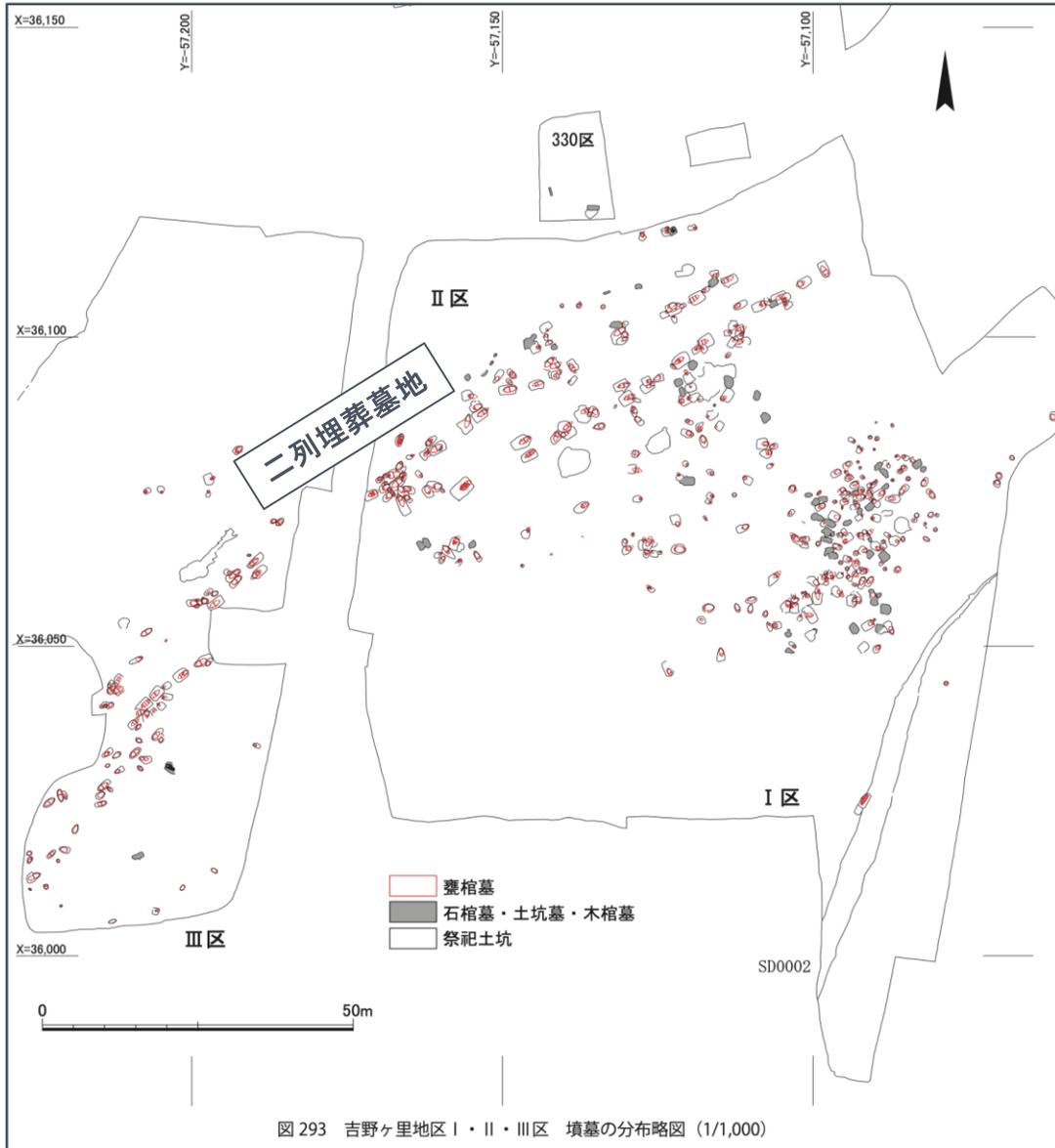
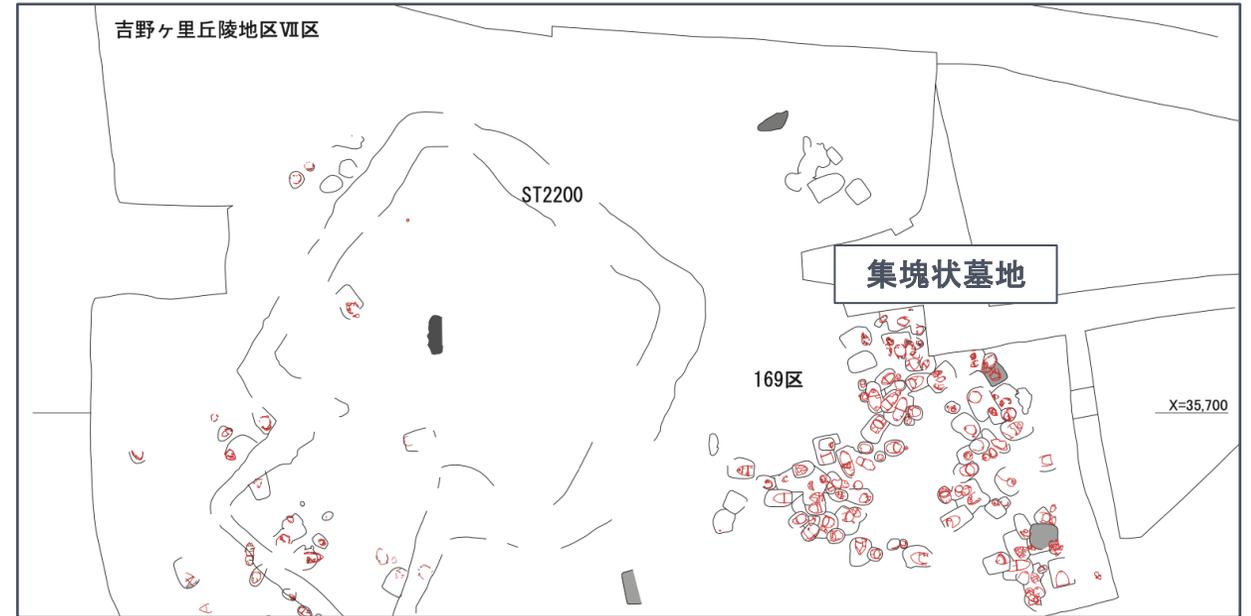


図 293 吉野ヶ里地区Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ区 墳墓の分布略図 (1/1,000)



甕棺墓 (合わせ口甕棺)

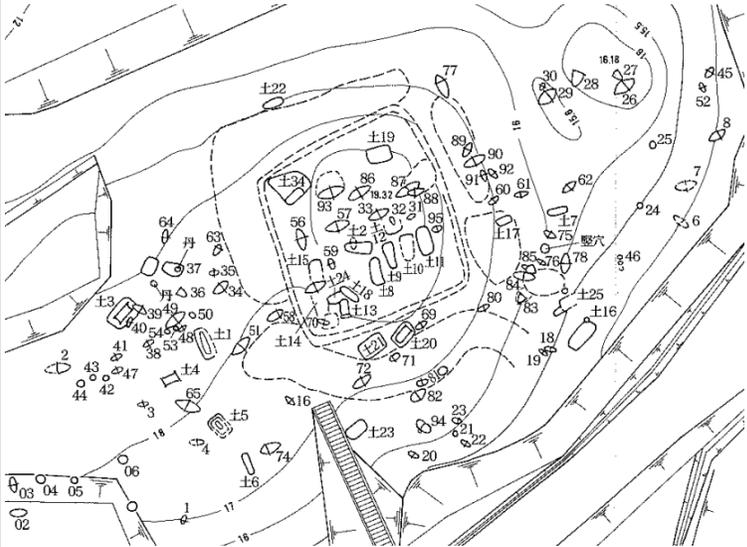


甕棺墓 (単棺)

# 時代別の傾向—発展段階モデル—

【高倉1973 北部九州における発展段階モデル】

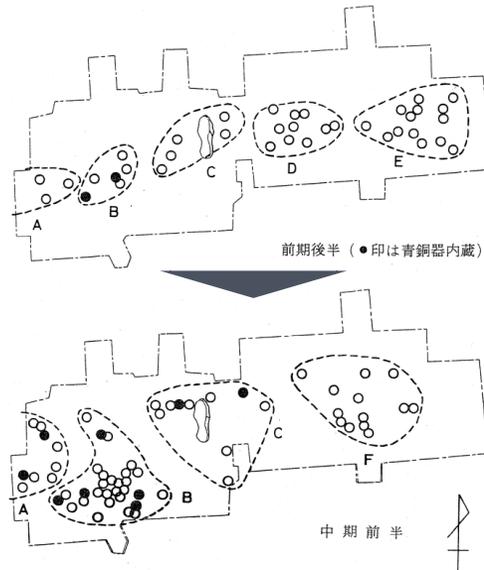
## 【単一家族墓】



- ・小規模で家族墓的性格
- ・副葬品による格差はない

弥生前期後半～

## 【共同墓地】



- ・墓地構成群が減少
- ・副葬品による格差が発生

弥生前期末～後期前半

## 【特定個人墓】



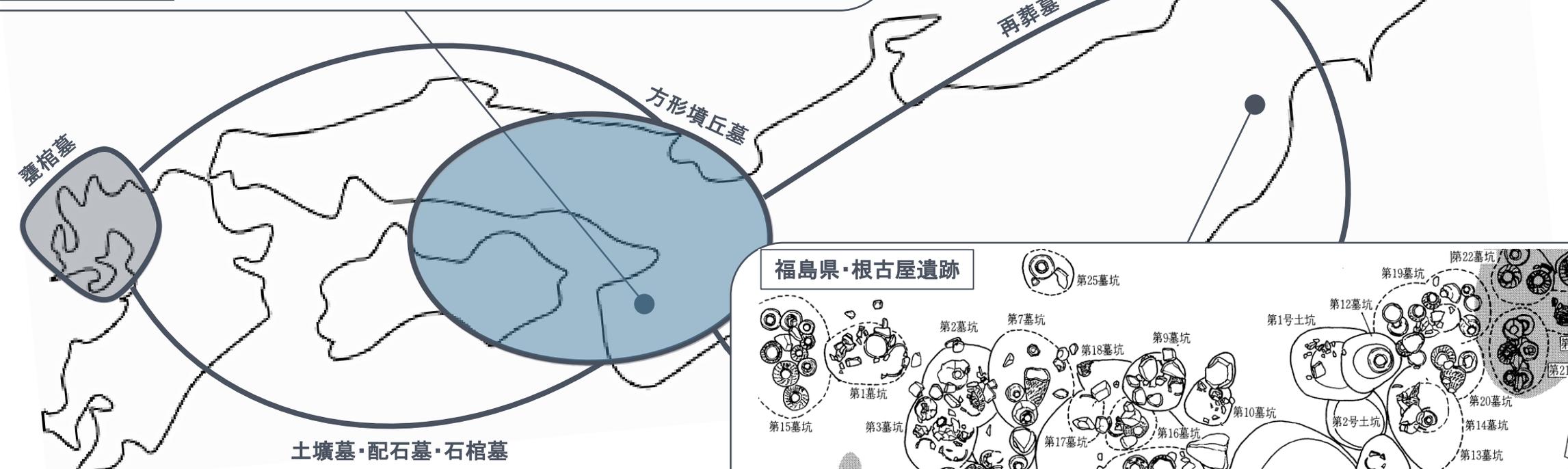
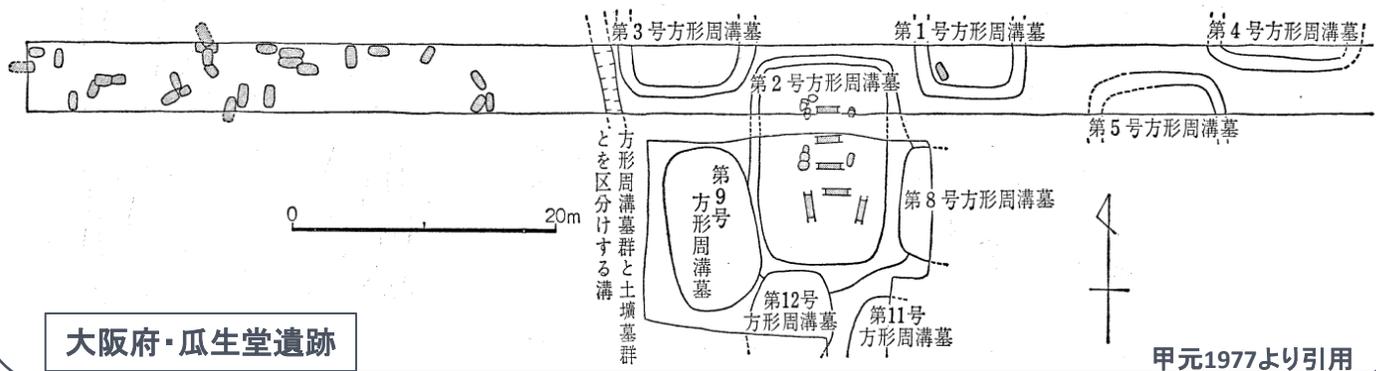
- ・三階層が出現
- 特定個人墓
- 群墓埋葬される人
- 墓地に埋葬されない人

弥生後期中葉～

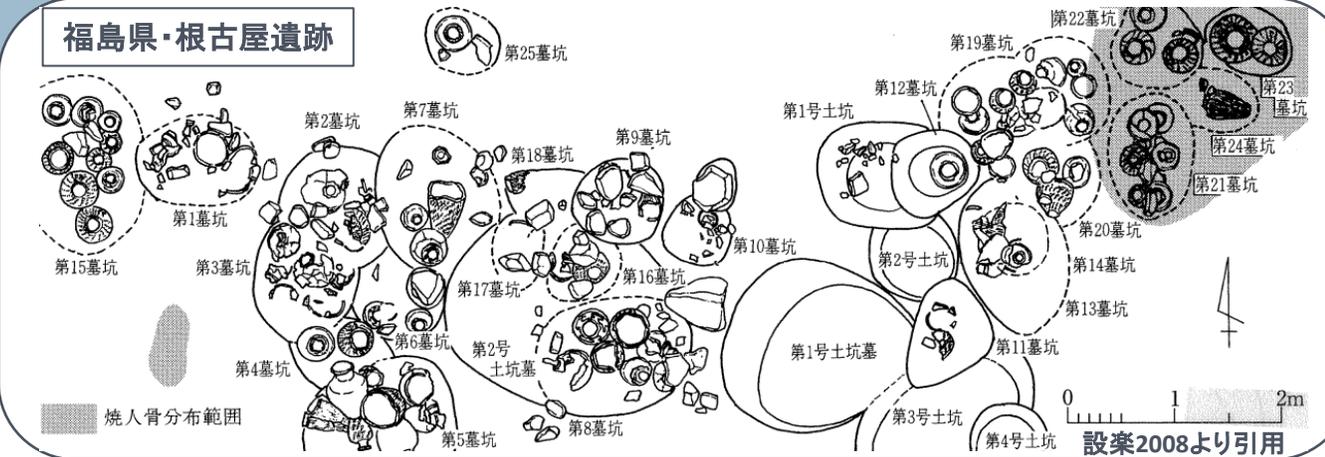
# 時代別の傾向—弥生中期の他地域の様相—

土壙墓群 = 下位階層者

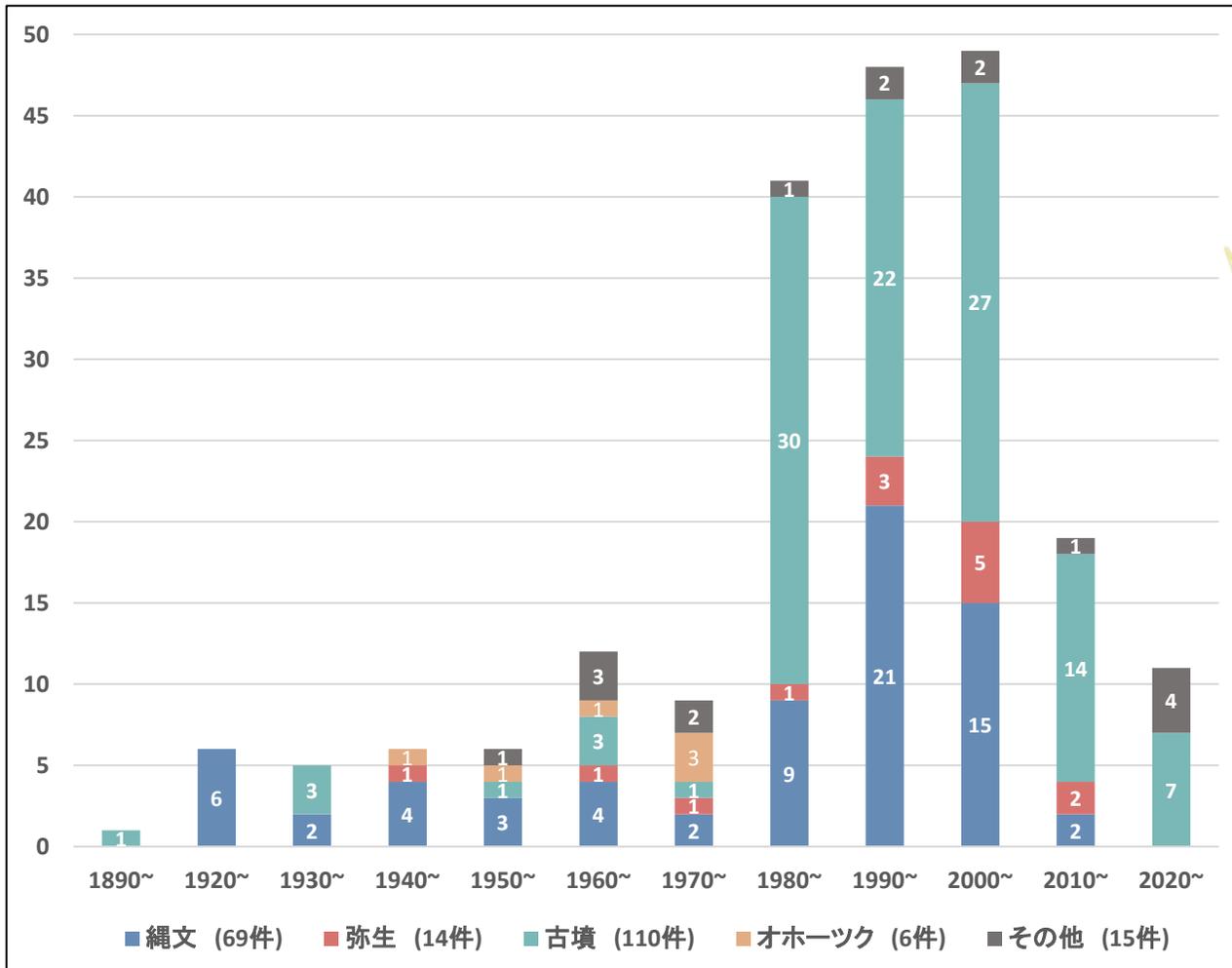
方形周溝墓群 = 上位階層者



福島県・根古屋遺跡



# 時代別の傾向—弥生方位研究のこれから—



縄文

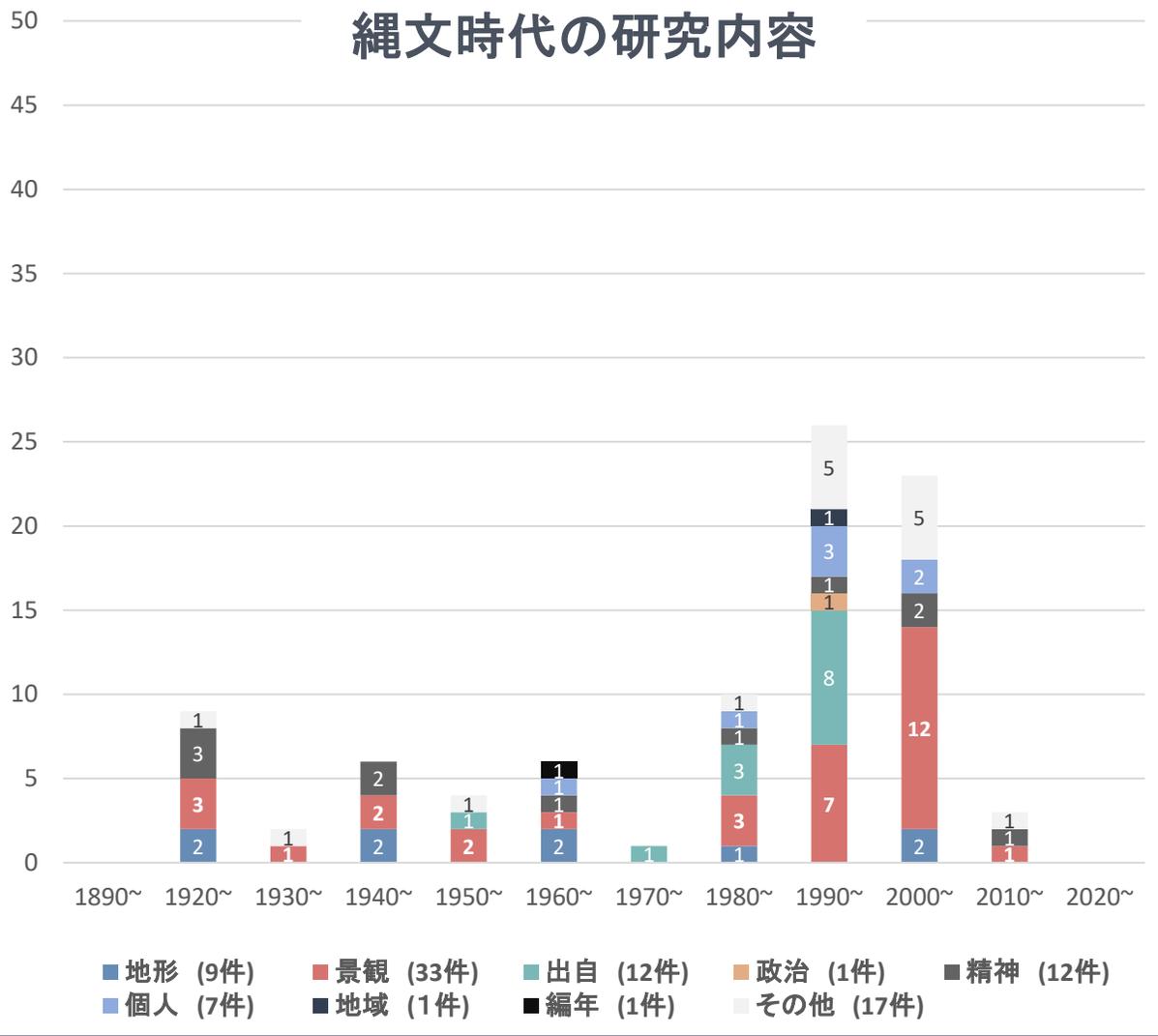
弥生

古墳

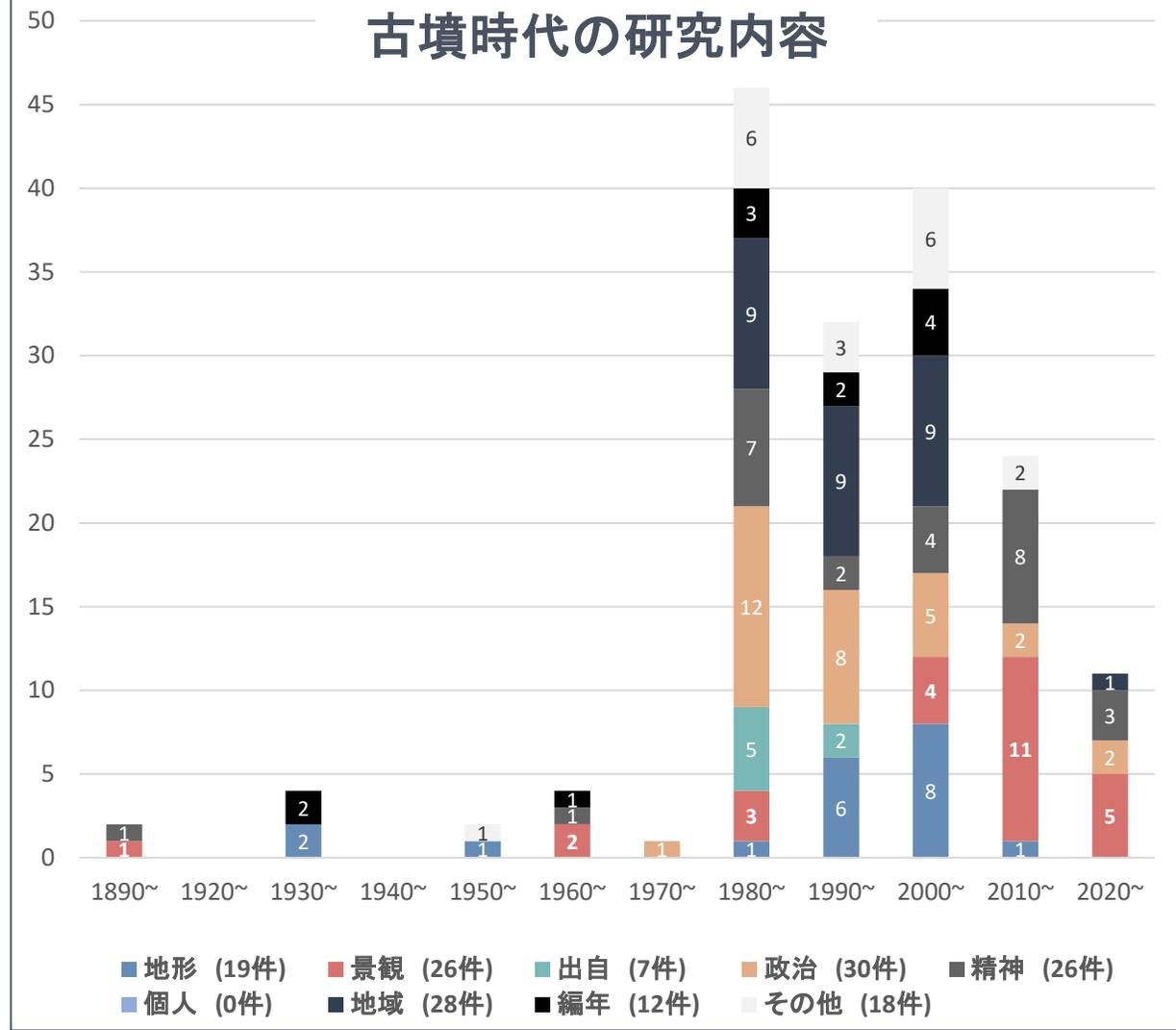
【問題】 縄文時代～古墳時代をつなぐ通時的な把握が困難になる

# 研究内容の傾向—景観史研究へのまなざし—

## 縄文時代の研究内容

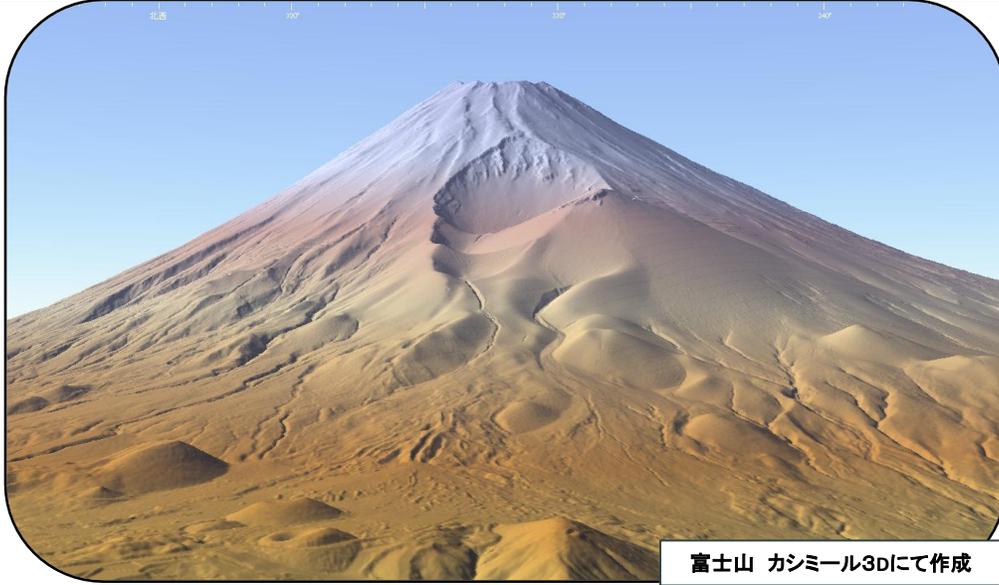


## 古墳時代の研究内容



【疑問】 どうして景観史研究は最近になって活発化したのか？

# 研究内容の傾向—技術的問題—



富士山 カシミール3Dにて作成



五色塚古墳 Google Earthにて作成



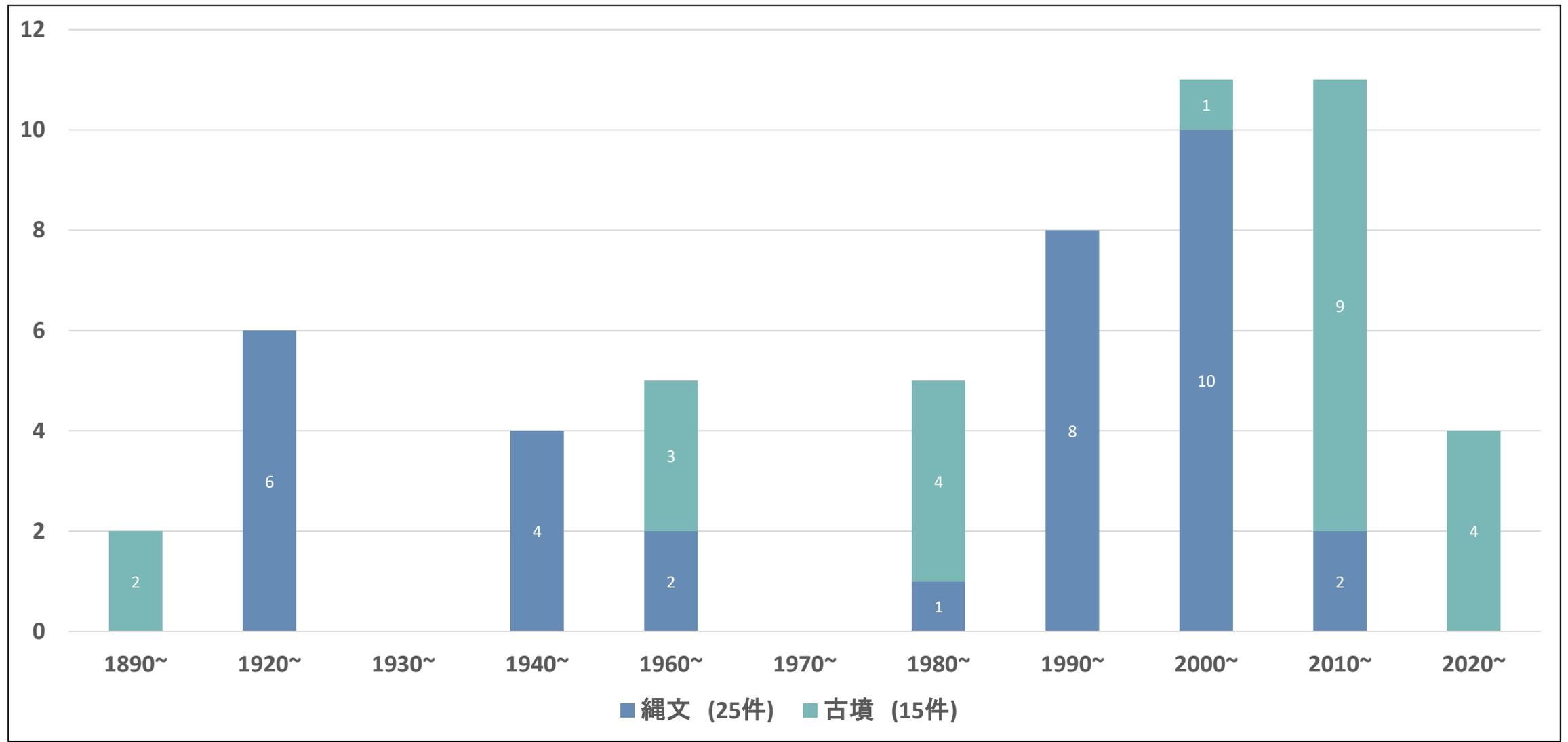
250年の天の川 StellaNavigatorにて作成



吉野ヶ里遺跡の情景 arcAstroVRIにて作成

①技術の問題・・・カシミール3DやGoogleEarthなどが普及したのは最近

# 研究内容の傾向—皇国史観をめぐるうごき—



②戦後考古学の問題…脱・皇国史観と太陽の相性の悪さ

# 研究内容の傾向—戦前と戦後の動向—

## 【戦前：皇国史観】



日本神話＝**事実**  
考古学はその証拠を  
集める役割

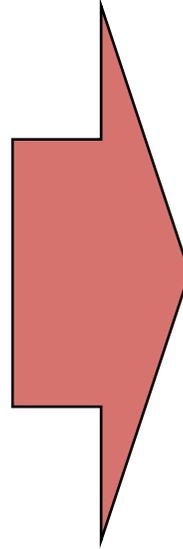


長岡京市埋蔵文化財センターHPより



東京国立博物館HPより

後藤守一は鶏形埴輪を  
天の岩戸説話の常世の長鳴鳥と理解



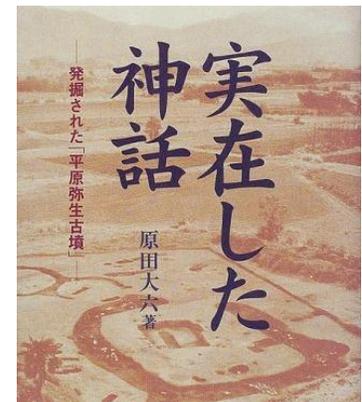
## 【戦後：脱・皇国史観】



日本神話＝**非科学**  
三国志などが採用



糸島市HPより

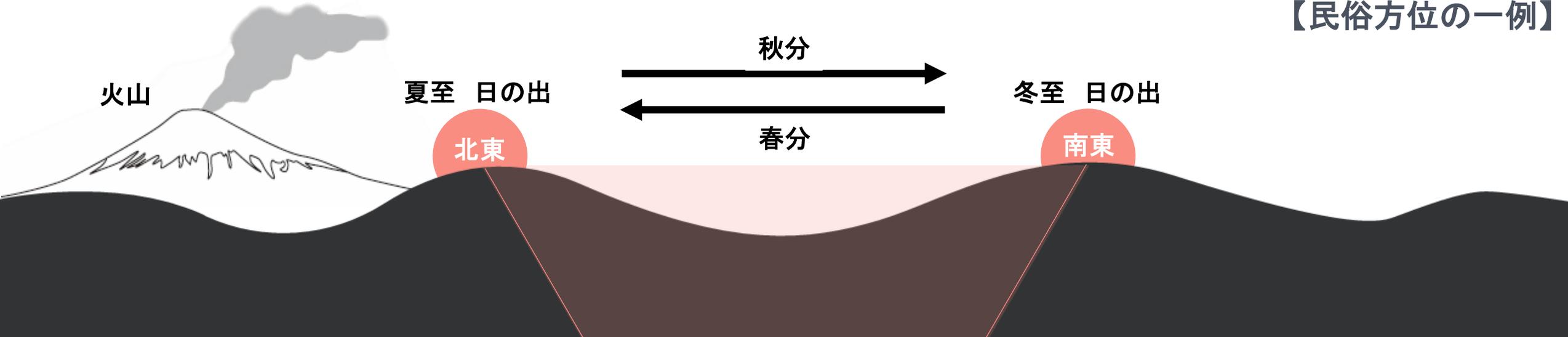


1966年  
出版

日本神話を参考に太陽神を  
論じた原田大六の本は無視

# 研究内容の傾向—民俗方位の重要性—

【民俗方位の一例】



富士宮市教育委員会2013より引用

静岡県 丸ヶ谷戸遺跡



赤塚2018より引用

愛知県 東之宮古墳

# 埋葬方位研究のこれから

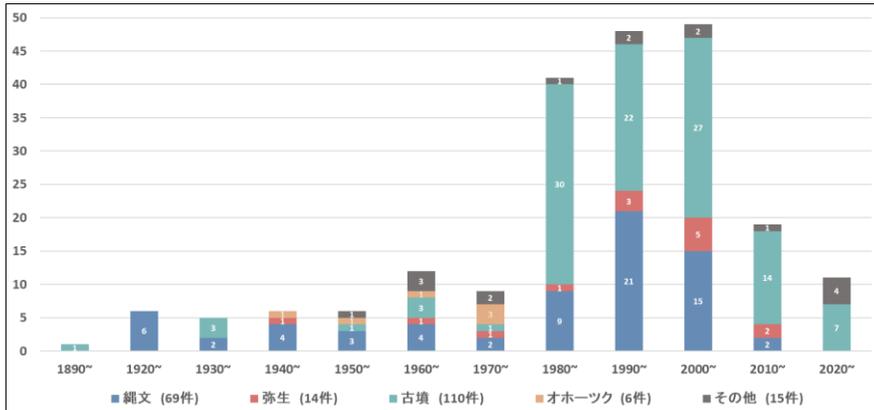
## 通時的的研究



縄文

弥生

古墳

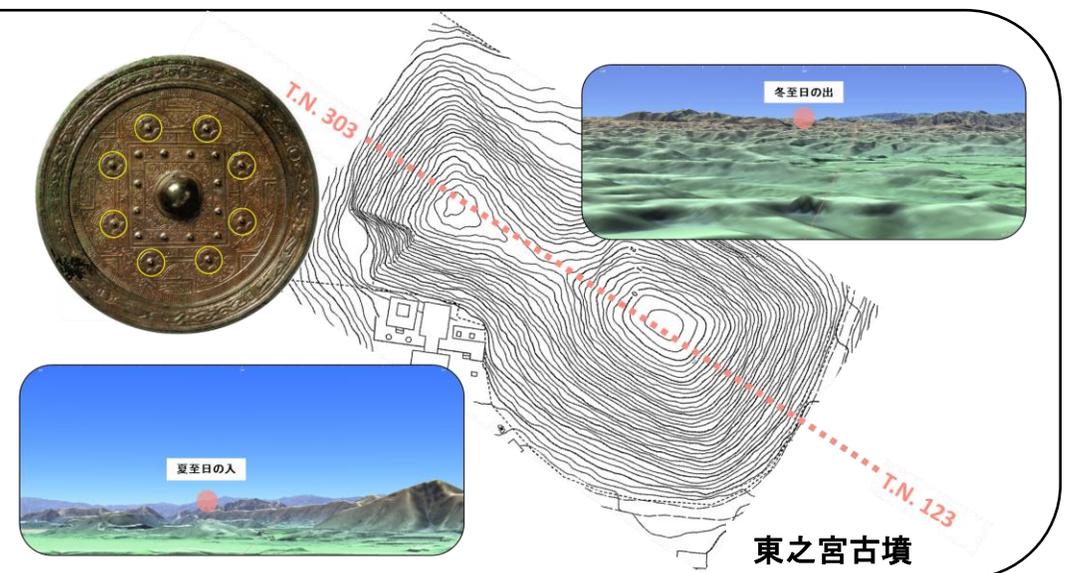
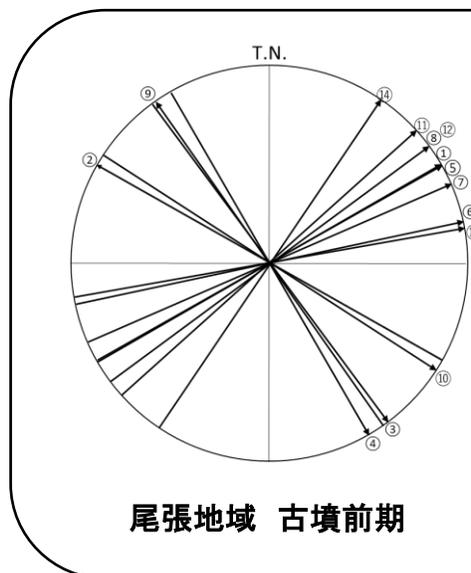
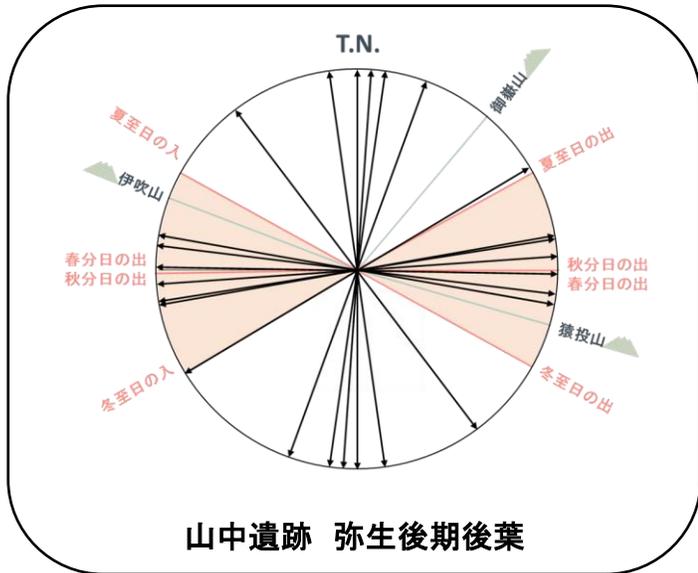
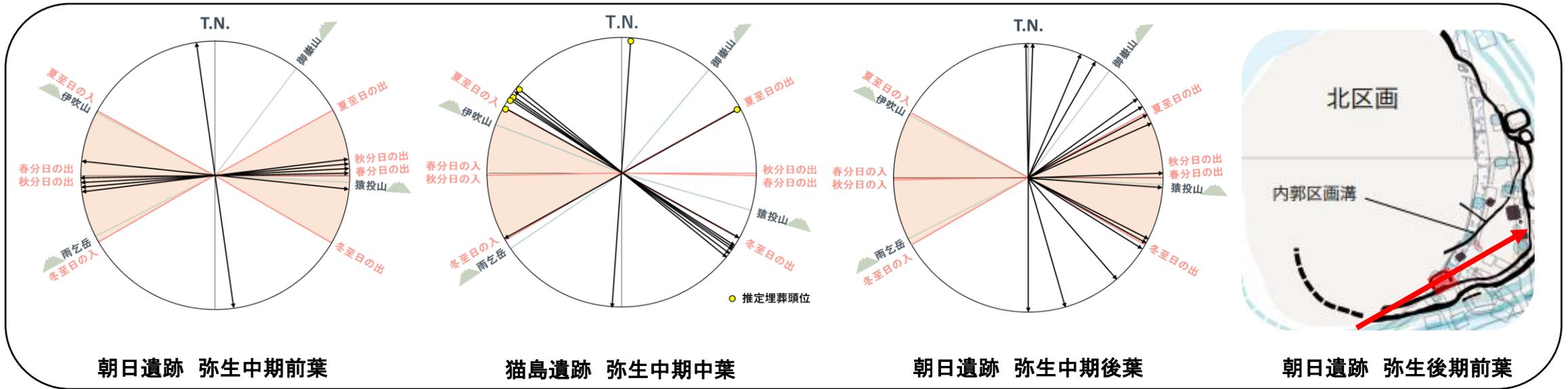


## 景観史研究



富士宮市教育委員会2013より引用

# 太陽と人々の痕跡を探して



ご清聴ありがとうございました

